

## テーマ：参加する

ねらい

- ① 支援者からの問いかけを理解して、答えたり、適切な対応をすることができる。
- ② 文書や絵に注目して意味を理解することができる。

会話に参加し、自分から発信することで、コミュニケーションを学びます。積極的な参加を促しましょう。

例1：生徒は1つまたは2つのVOCAを使って、質問したり、答えたり、説明をします。

使用するVOCA：トーキングブリックス / アイトークウィズレベル



支援者はVOCAに質問と回答を録音し、それに合う絵記号（写真・シンボル）を貼り付けます。

例えば「女の子はどこに住んでいるの？」  
「ライオンは肉食動物ですか？」など。

選択肢：一般的な質問を録音します。

例えば「次に何が起こると思いますか？」

「説明できますか？」

「この環境にはどのような植物や動物がいますか？」



生徒はVOCAを使って質問したり、答えます。



## 例2：生徒は複数のVOCAを使って質問したり、答えます。

使用するVOCA：スーパートーカー / クイックトーカー

支援者はVOCAに質問と回答を録音し、各選択肢に合う絵記号（写真・シンボル）を表示します。  
例えば「少年はどうやって200円を得ましたか？」

「ヒョウは地上最速動物です」

選択肢：質問を録音します。

「そのキャラクターは何ですか？」

「その動物は何を食べますか？」



生徒はVOCAを使って質問したり、答えます。



## 例3：生徒はVOCAを使って効果音を出したり、物語のセリフを言います。

使用するVOCA：アイトークウィズレベル / ビッグマック

支援者はアイトークに2つ、またはビッグマックに1つ、物語に関連する効果音を録音します。

例えば、少年の笑い声や熊の鳴き声など。

選択肢：VOCAに物語に関する感情を2つ録音します。

例えば「好き」や「怖い」、または、お気に入りの登場人物や物語のセリフを言うためにVOCAに録音します。



生徒はVOCAを使って、物語に合った効果音を言ったり、感情を表したり、好きな登場人物のセリフを言います。



## ポイント



- ▶ 最初は1対1の質問と回答（動物→鳴き声）からはじめると分かり易いです。
- ▶ 質問に関する回答以外に的外れな回答を録音して、生徒に選択させることで、理解を促すことができます。
- ▶ メッセージ録音数の多いVOCAになるほど、選択肢が増え、難易度が上がります。
- ▶ 気持ちを表現する際は、感情の表現を加えて、生徒と共有することも大切です。